

何を読み取るべきか？

「五 音楽作品における意味」

(pp.101-106, 便宜的段落番号 35 - 43)

01. どんな問題を考えるために、ここでビアズリーの論文が取り上げたのか？
02. ビアズリーの論文名は何か？

モンロー・カーティス・ビアズリー Monroe C. Beardsley (1915 - 1985)

アメリカの美学者、哲学者。アメリカ美学会会長を歴任(1967-1968)。ウィムザット William K. Wimsatt Jr. (1907—1975) と共同執筆した『意図の誤謬(ごびゅう)』『情緒の誤謬』で、批評の根拠を創作家の意図や鑑賞者の印象から切り離し、作品自体の批評に向かうことを主張。 ※ 批評理論における「新批評」(ニュークリティシズム, New Criticism)の主唱者。

(Web サイト「コトバンク」より)

03. ビアズリーは、その論文で、具体的にどのような問題を明らかにしようとしたか？
 05. ビアズリーは、その論文で、どのような「概念」をつかって、どのようなことを主張したか？
 09. ビアズリーの考えと、グライスの考えとは、いかなる関連があるか？
 11. ビアズリーによると、音楽作品に内在する属性のうち、どのような属性が注目に値するとされるか？
 13. ビアズリーによると、音楽作品が意味として指示しうるのは、音楽に内在する事柄か？ それとも 音楽の外部の事柄か？
 15. 渡辺によると、ビアズリーのいう「注目に値する属性」は、どのように言い換えることができるか？
 17. 渡辺によると、音楽に内在する複数の属性のうち、聴き手が作品を聞いたときに着目する属性は、どのような性格の属性か？
 18. 渡辺によると、音楽は単一の意味を指示するものか？ あるいは、複数の意味を指示する可能性をもつものか？
-
21. 「通常のコミュニケーション」と「新しいコミュニケーション」は、何によって区別されるか？
 22. 本文中の「意味」と意味 はどのような違いを含意していると考えられるか？